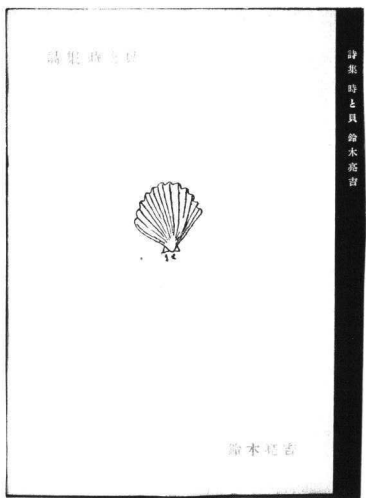


鈴木亮吉 すずき ありき 詩人。大正六年福島縣東白川郡高城村生れ、昭和二十年九月歿（一九七一年）。昭和十一年第一高等學校理科の類入學となり、病を獲て退學。翌年東京市中野療養所入所。十二年子洪病舎教師となり、この年の體験をこの小説「曙光」と題して執筆したが、未發表の儘早逝。

詩集「花と心」（昭和二十二年四月）は國民圖書刊行會）からは鈴木家と交渉のあつた曾宮一念が挿畫を描き、「時と頁」（昭和三十一年十一月）は船森社）では葦野心平が題字と序文を寄せた。



詩集 花と心 鈴木亮吉